

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	結核検診事業	所管	保健福祉部 成人保健課
			TEL 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	結核に関する正しい知識の普及及び健康障害の回避、症状の軽減、進行の遅延を図る。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	15歳以上の胸部X線検査を受ける機会のない方 (対象者が特定できないため人数は把握できない)	対象とした数	不明
		実際に 利用した数	88 人

活動の内容	(何を したか)	結核検診については、広報等により周知し、市役所、公民館、保健センターで検診車の胸部X線撮影により無料で実施している。							
活動実績	項目名	結核検診	88	項目名	2	項目名	単位	人	単位
			----- 単位 人		----- 単位 人				

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	498	415	3,045	9.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	要精検率	受診者数÷精検者数	----- 単位 %	2.3 ----- 単位 %	2.3 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名 事業コード 040918	結核検診事業	担当 部課コード 040900	部課コード 040900	TEL 2991-1811
開始年度 平成 10 年度	→	終了年度 平成 年度		
自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託+附加 <input type="checkbox"/>		根拠法令 保健福祉部 成人保健課		
分野別計画・指針 高齢者保健福祉計画		感染症予防法		
関連・類似事業				
総合計画の体系		政策 第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策 6節 保健・医療	中柱 2 生涯を通じた健康づくりの推進
		小柱 (7)感染症対策事業の充実		
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位		実施計画における位置づけ…		H19 <input type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/>
行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
コード 1111	市民の知りたい情報の提供	コード 1321	窓口満足度の向上	コード 3261
事務事業見直しの推進				

②事業の概要	事業の種別	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	高齢者保健福祉計画			感染症予防法
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	政策 第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策 6節 保健・医療	中柱 2 生涯を通じた健康づくりの推進	小柱 (7)感染症対策事業の充実
		H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位		実施計画における位置づけ… H19 <input type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/>	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード 1111	市民の知りたい情報の提供	コード 1321	窓口満足度の向上	コード 3261
	事務事業見直しの推進				
	事業開始の背景	結核検診については、感染症の代表的な疾患であり、現在でも年間数千人の死者を出している。この疾病を早期に発見し、治療に結びつけまん延を予防することを目的に実施している。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	結核に関する正しい知識の普及及び健康障害の回避、症状の軽減、進行の遅延を図る。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	15歳以上の胸部X線検査を受ける機会のない方(対象者が特定できないため人数は把握できない)			
	対象数	単位	平成 18 年度	不明	利用数
			平成 19 年度	不明	単位
	事業の具体的な内容及び実施方法		平成 18 年度	137	人
	結核検診については、広報等により周知し、市役所、公民館、保健センターで検診車の胸部X線撮影により無料で実施している。		平成 19 年度	88	人

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input checked="" type="checkbox"/> ≫			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	平成19年度中に改善した点				
	結核検診は、基本健康診査の附加項目として実施してきたが、平成20年度からは保健センター及び地区巡回検診(地区公民館等で実施する検診車による集団検診)の形態で実施する。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		513	498	941
	決算(見込み含む)		407	415	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費	0.89 人	8,188	0.28 人	2,630
	公債費				
	事業費合計		8,595	3,045	
	財源内訳	一般財源	8,595	3,045	941
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		25.4	9.0	
	利用数一単位あたり(単位:円)		4,259.4	34,605.9	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	活動実績	項目名	結核検診	計算方法	受診者数	単位	人	H 18	137	H 19	88	H20見込み		将来目標
					精検者数	人		1	2					
		成果分析	要精検率	受診者数÷精検者数	%	目標値								
				%	実績	0.7	2.3	実績値の拡大を図る1		1				
			%	達成率	0.7	2.3	実績値の縮小を図る2							

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性	
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	明らかとなった課題	結核検診については、結核予防法の改正で法に基づく対象者は65歳以上となったが、結核予防の重要性に鑑み従来どおり15歳以上の市民の方を対象に実施している。						
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	平成20年度における目標設定			結核検診の受診者の増加。	平成21年3月
	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	結核検診については、結核が現在でも国内で年間数千人の死者を出す最大級の疾病であることから、引き続き早期発見に努めていかなければならない事業であり、継続が必要な事業である。						
	評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	成人保健課長 細江 松子				

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	評価日						
	評価日							

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し							計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し							計画コード	
	基本目標									
	主要課題									
	施策の方向									